

Pemetrexed for advanced non-small cell lung cancer patients with interstitial lung disease

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2014-03-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 加藤, 元康 メールアドレス: 所属:
URL	https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2001546

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 1483 号

Pemetrexed for advanced non-small cell lung cancer patients with interstitial lung disease

(間質性肺疾患合併非小細胞肺癌患者に対するペメトレキセド投与の検討)

加藤 元康 (かとう もとやす)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、間質性肺疾患を合併するか否かによって、非小細胞肺癌患者に対するペメトレキセド関連薬剤性肺障害の発症率が異なるかを調査し、間質性肺疾患合併例で有意に発症率が高いことを示している。さらに、間質性肺疾患を有する症例では胸部高分解能 CT 上蜂巢肺を有する通常型間質性肺炎パターンと有さない非通常型間質性肺炎パターン別での発症率の差を検討し、単純性間質性肺炎パターンで発症率が高いことを示唆している。

数年前に、本邦において gefitinib による肺障害で多数の死亡例が発生し社会問題になった。gefitinib による薬剤性肺障害は欧米と比較し本邦でより多いとの報告もあり、また、本邦では gefitinib 以外の薬剤性肺障害の発症リスクも高いと考えられている。間質性肺疾患は原発性肺癌にしばしば合併し、薬剤性肺障害は発症すると死に至ることも多いため、間質性肺疾患合併進行肺癌例では、化学療法薬剤選択に難渋し、臨床上の重要な問題の一つである。本論文では非小細胞肺癌に於いて頻用されるペメトレキセドによる薬剤性肺障害の発症リスクを、間質性肺疾患合併有無、及び胸部高分解能 CT を用いた画像所見別に解析し、初めて明らかにしており、臨床的に意義のある論文である。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。